

雪歳時記

あ
お
も
り

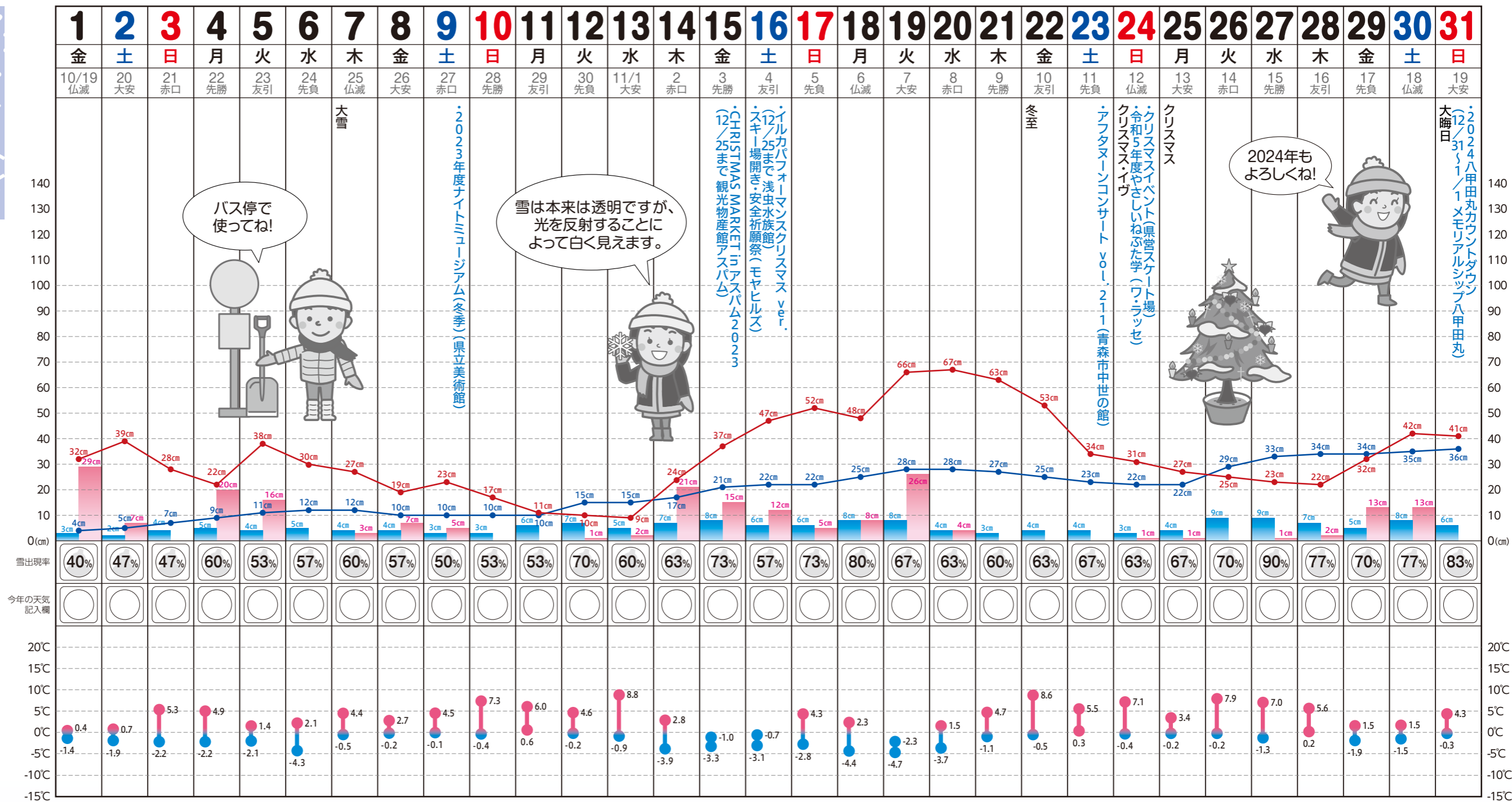
〈ゆきしらよみ〉

令和5年(2023)

12月

冬本番、師走となり年越しを迎え

あおもり雪歳時記



みんなの協力による雪対策

- 雪は雪捨て場に**
雪は、自宅の敷地内か指定された雪捨て場に捨てます。道路や河川への投雪はやめましょう。
- 融・流雪溝は正しく利用**
融・流雪溝は処理できる雪の量に限りがあります。詰めすぎないよう気をつけ、利用後は蓋の閉め忘れにご注意ください。
- 屋根の雪下ろしに注意**
屋根からの落雪は非常に危険です。こまめに下ろしましょう。雪下ろしの際は、携帯電話、命綱、ヘルメットを忘れずに。



バス停の雪かきに協力を

国道4号・7号の青森市堤町～古川の歩道には融雪設備が設置され、この区間内の一部のバス停には、冬期間、雪かき用のスコップが設置されています。これは、快適な雪道づくりに向けて、平成17年度から毎年実施しているものです。

融雪歩道は快適ですが、融雪の届かない歩道と車道の間にはたまった雪は、乗降の際に滑って非常に危険です。気づいた人は、バスの待ち時間の「ちょっとひとかき」にご協力ください。また、車道や融雪歩道への投雪は絶対にやめましょう。



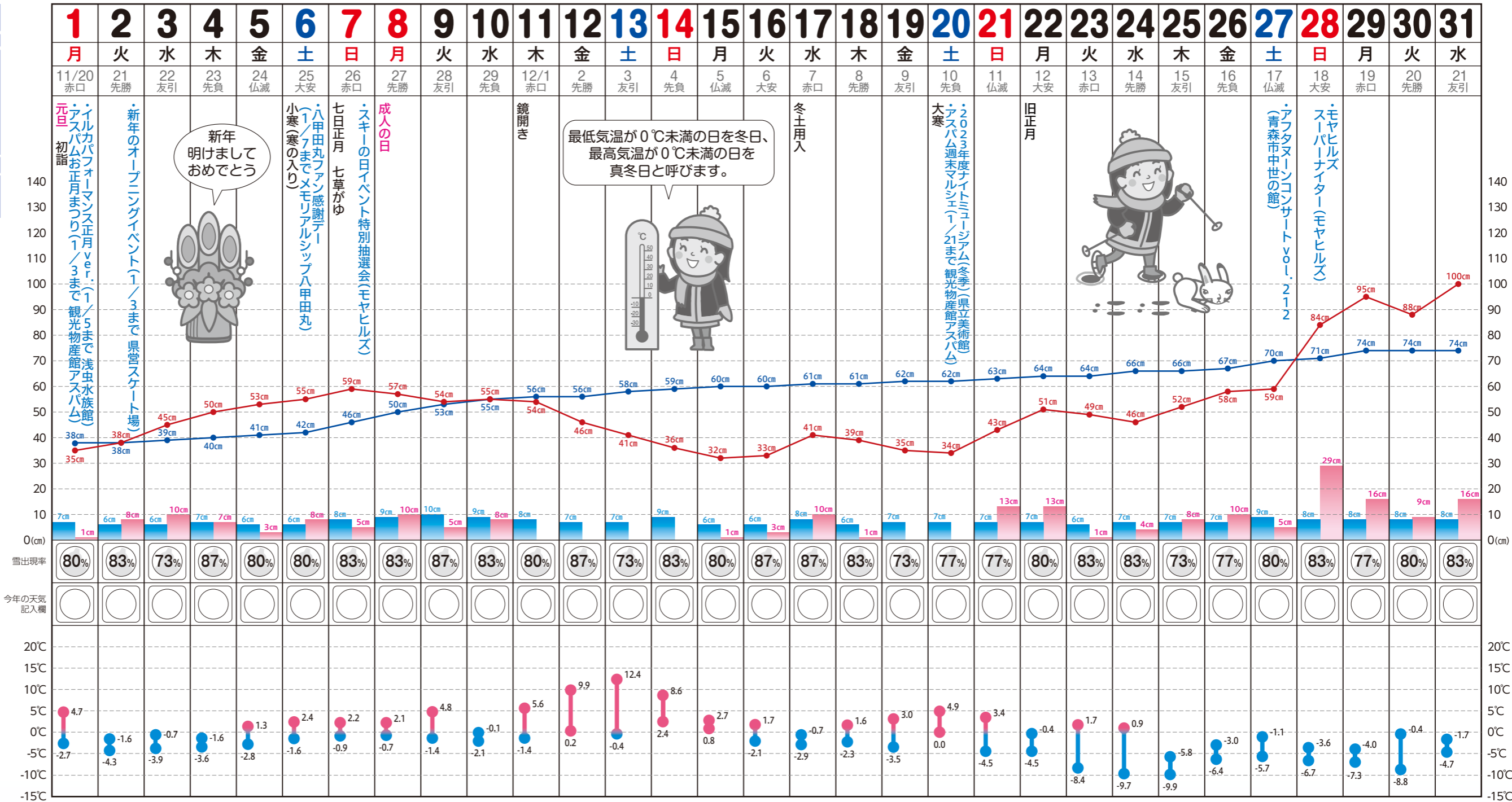
(今年の天気記入例)

(グラフなどの見方)

- 最深積雪量 / 一日(0時～24時)一時間ごとに計測しますが、その中で最も積もった値。
- 降雪量 / 前日21時から当日21時までの一日に積もった雪の合計量です。
- 降雪出現率 / 近年30年の中で、雪、みぞれ、霧雪、細氷、ふぶきが観測された日の割合。

※気象データは青森市のものです。(気象庁ホームページより) ※記載のイベントは2023年10月31日現在の情報です。天候等により変更・中止となる場合があります。

新年の喜びと雪深まる冬の厳しさ
あおり雪歳時記




初詣の意味・由来

初詣とは、一年でいちばんはじめに神社やお寺にお参りに行き、一年の幸せを祈願することを言います。「初参り」と呼ぶこともあり、平安時代から伝わる「年籠り(としごもり)」という風習だと言われており、この「年籠り」が、大晦日にお参りする「除夜詣」と、元旦にお参りする「元日詣」に分かれたのではないかと考えられています。

江戸時代には、「恵方詣」とも呼ばれており、人々はその年の恵方にある神社にお参りしていました。

恵方にこだわらず、好みや思い入れのあるお寺や神社にお参りに行くようになったと考えられています。




正月に食べられるけの汁

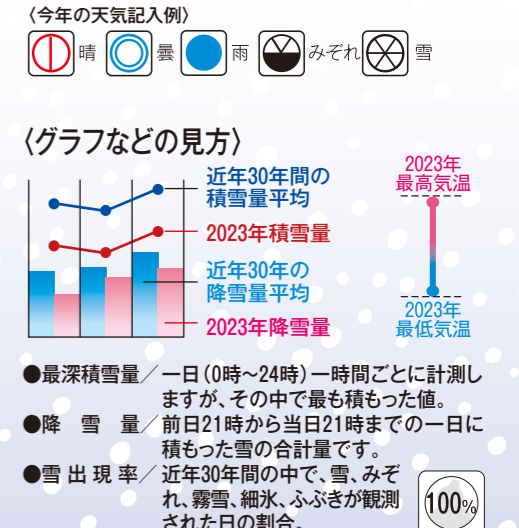
小正月(1月15日)に一年の無病息災を願っていただく精進料理で「津軽の七草がゆ」とも呼ばれています。

家庭の女性が小正月(旧暦の正月16日)にくつろぐために作り置きする栄養豊富な保存食です。

大根・人参・ごぼう等の根菜類、凍み豆腐、油揚げ、こんにやくなど、フキやワラビなどの山菜類を細かく刻み、味噌で味付けします。大豆を入れたり、醤油味のところもあり、大鍋に大量につくり、4、5日間も温めなおして食べる習慣があります。



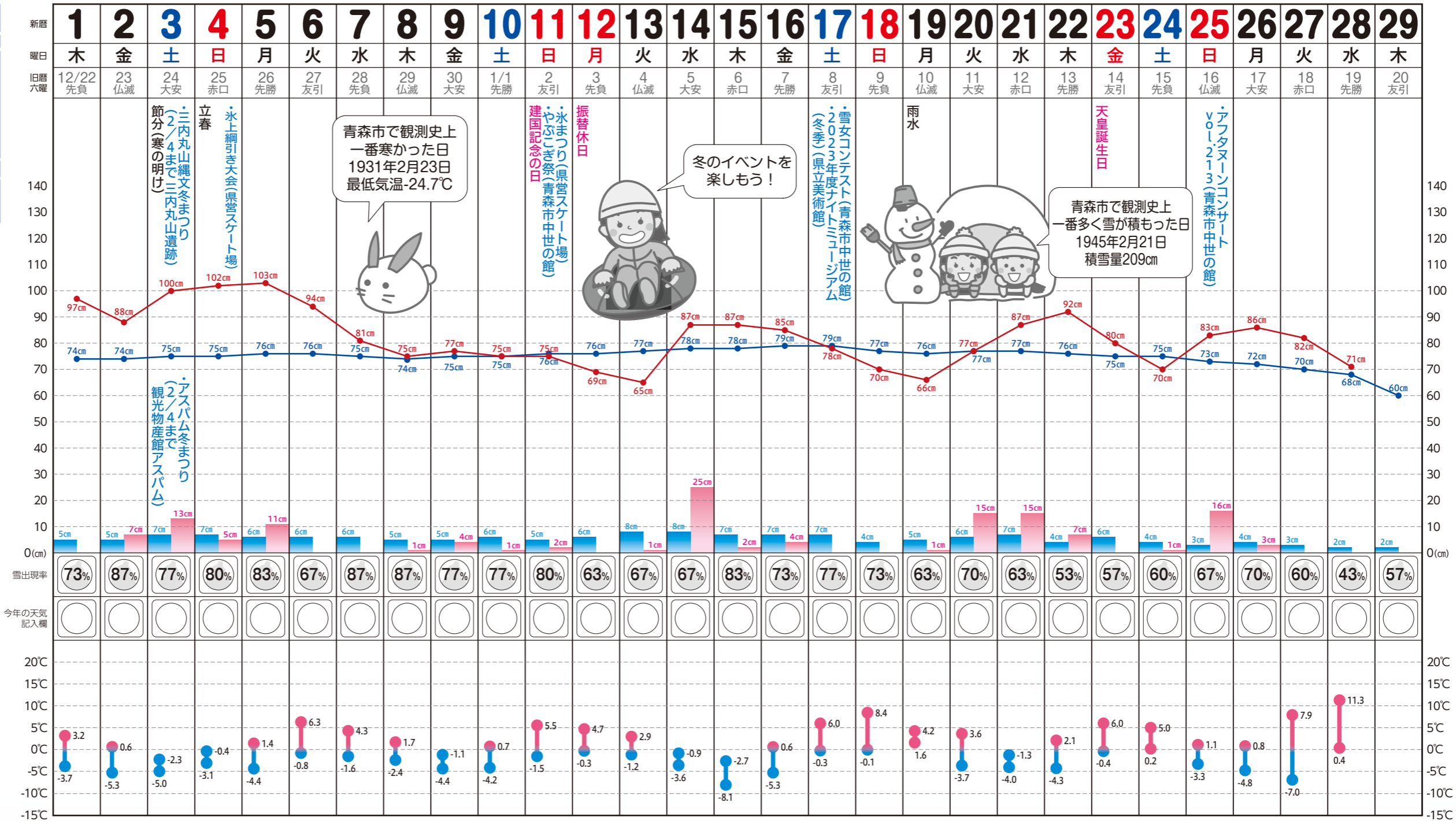
出典/農林水産省「うちの郷土料理」



※気象データは青森市のものです。(気象庁ホームページより) ※記載のイベントは2023年10月31日現在の情報です。天候等により変更・中止となる場合があります。

まだまだ冬の厳しさ、立春くれども春はまだ遠し

あおり雪歳時記

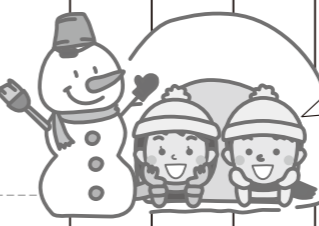


青森市で観測史上
一番寒かった日
1931年2月23日
最低気温-24.7℃



冬のイベントを
楽しもう!

青森市で観測史上
一番多く雪が積もった日
1945年2月21日
積雪量209cm



快適な雪国都市を目指す「青森市雪対策基本計画」

青森市の雪対策は、令和2年度に策定した「青森市雪対策基本計画」に基づき推進されています。

効果的で効率的な除排雪に欠かせないのが、行政、事業者、市民それぞれが役割と責任を担う「市民協働」の考え方。

冬期間も快適で安全に過ごせる都市づくりに向けて、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

●問合せ／青森市都市整備部道路維持課 雪対策室 TEL.017-752-8584

計画の基本方向

1. 冬期間における安全で安心な道路環境の確保
2. 冬期間における災害に強いまちの機能の確保
3. 雪に強く住みよいまちづくりの推進
4. 市民が共に支え合い助け合う持続可能な雪対策の推進
5. 冬期における市民生活の豊かさと活力の呼び起こし

冬の体調管理で気を付けること

冬は、寒くて乾燥しているのが特徴です。人間の体は体温が下がると免疫力も落ち、冬に病気にかかりやすくなります。急激な温度変化は様々な健康トラブルを引き起こします。

暖房の効いた部屋から、急激に寒い屋外へ出る時、血管が急激に収縮するため、血圧が一気に上昇します。血圧の急激な上昇は狭心症、心筋梗塞、脳梗塞を引き起こす危険性があります。

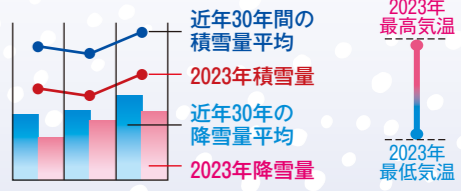
冬は夏ほど汗をかかないので、あまり水分補給は必要ないと思っていませんか？冬の体調管理には水分補給も重要です。特に肌が荒れている人は肌表面のバリア機能が弱まり、奪われる水分量も多くなります。



(今年天気記入例)

晴 曇 雨 みぞれ 雪

(グラフなどの見方)



- 最深積雪量／一日(0時~24時)一時間ごとに計測しますが、その中で最も積もった値。
- 降雪量／前日21時から当日21時までの一日に積もった雪の合計量です。
- 雪出現率／近年30年の中で、雪、みぞれ、霧雪、細氷、ふぶきが観測された日の割合。

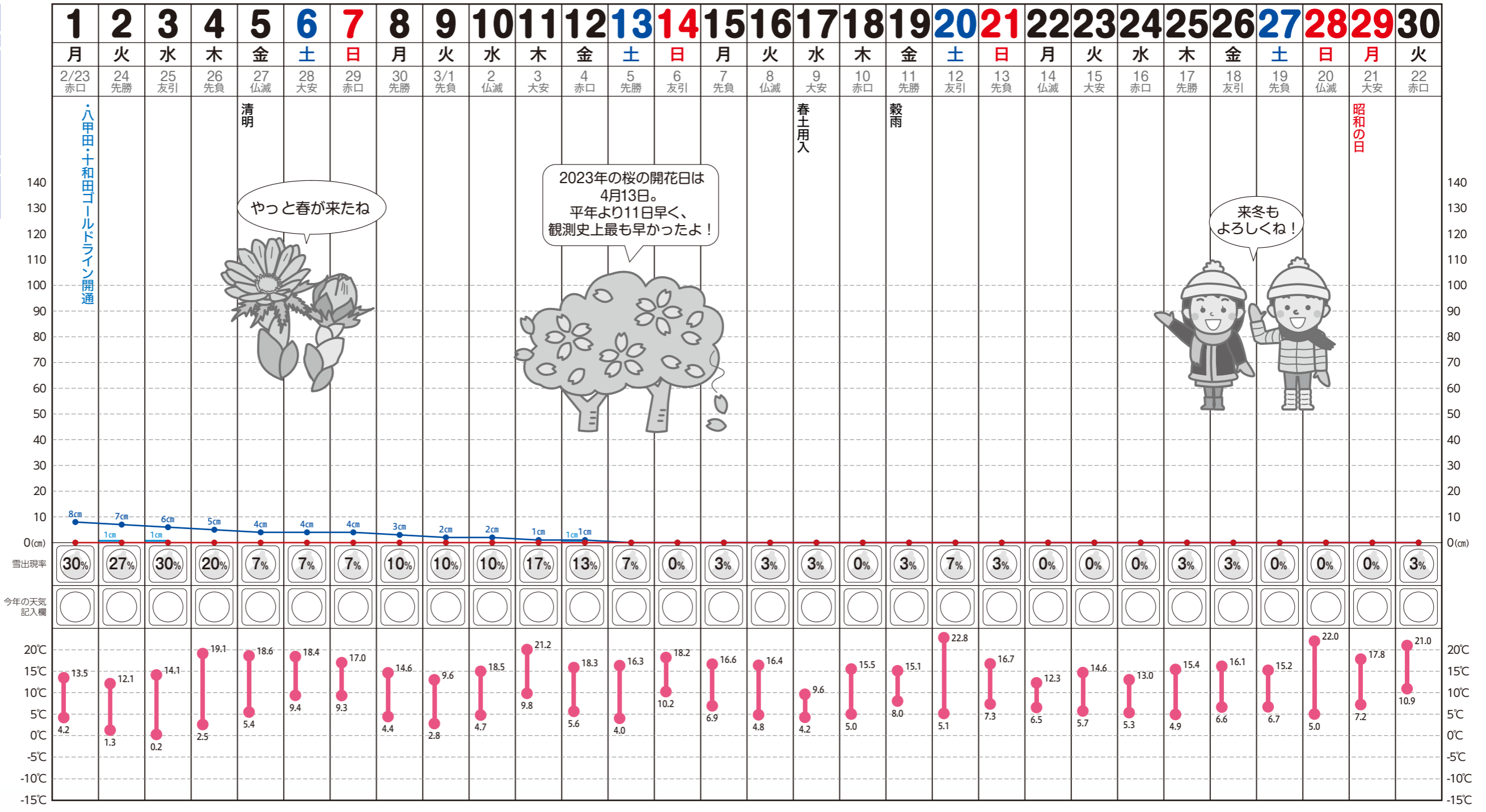
※気象データは青森市のものです。(気象庁ホームページより) ※記載のイベントは2023年10月31日現在の情報です。天候等により変更・中止となる場合があります。

令和6年(2024)

4月

始まりの月、嬉しい出会い桜によって

あもり雪歳時記



桜の早咲き

例年であれば、ゴールデンウィーク頃に見ごろを迎える桜ですが、昨年(2023年)は4月7日(金)にソメイヨシノが開花しました。(青森地方気象台発表)

また昨年は、梅(ブンゴウメ)の開花も4月5日(水)に発表されました。梅は早い所では年末から咲き始め、開花前線は約4か月かけて北海道まで北上する一方、桜前線は2か月足らずで北海道まで北上します。梅の開花前線が桜よりも先に津軽海峡を超える年もあり、毎年レースのようになっています。



あもり春の天然山菜

四季のメリハリがはっきりしている青森は、里の雪が消えると瞬間に緑の山河が広がる一方、山では春スキージーズンを迎えるなど、春と冬と一緒にやってくる面白い景色が広がります。

この時期から、青森の山々には、「ふきのとう」「カタクリ」「行者にんにく」「アザミ」などの早春の山菜が芽吹き始め、朝早く採られたこれらの山菜が、市内各地の道の駅や直売所などの店頭で並べられます。



(今年の天気記入例)

☉晴 ☁曇 ☂雨 ☃みぞれ ☄雪

(グラフなどの見方)

近年30年間の積雪量平均
2023年積雪量
近年30年間の降雪量平均
2023年降雪量

●最深積雪量/一日(0時~24時)一時間ごとに計測しますが、その中で最も積もった値。
●降雪量/前日21時から当日21時までの一日に積もった雪の合計量です。
●雪出現率/近年30年間で、雪、みぞれ、霧雪、細氷、ふぶきが観測された日の割合。

2023年最高気温
2023年最低気温

100%

※気象データは青森市のものです。(気象庁ホームページより) ※記載のイベントは2023年10月31日現在の情報です。天候等により変更・中止となる場合があります。

